

日本の大学数 2023年度は793校

大学数は昨年から3校増。専門職大学が4校増加

旺文社 教育情報センター 2023年8月17日

当記事では、2023年度時点での日本の大学数をまとめた。あわせて、全国の大学の学部・学科数、学べる学問分野の設置状況なども掲載した。日本の大学に関する基礎データとして示したい。

※本稿の集計データは『螢雪時代4月臨時増刊、8月臨時増刊』（旺文社）ならびに文部科学省資料を基にしている。

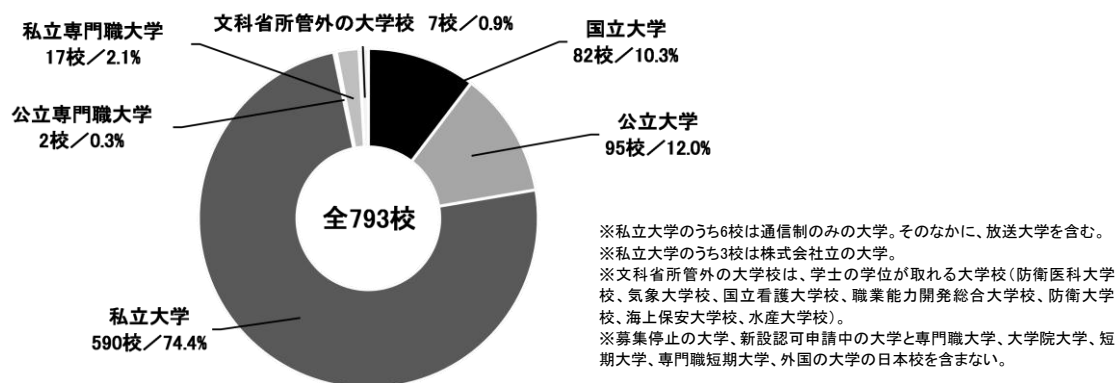
■私立専門職大学が増加

2023年度の日本の大学数は、793校であった。昨年度は790校で、3校増加した。

大学の数は資料によって集計対象が異なるため、さまざまな数値が散見される。文部科学省『令和4年度 学校基本調査』では、昨年度の大学数は807校となっている。これは、学生の募集を停止している大学や、大学院のみの大学も含んでいる。本稿では、当該年度に学生の募集を行わなかった大学は含んでいない一方、文科省所管外の大学校で学士の学位が取れる防衛医科大学校などを含んでいる。

内訳を見てみると、国立大学の数は昨年と同様に82校。公立大学は1校増えて95校となった。私立の旭川大学が旭川市立大学に設置者変更された。私立大学が公立化される例は、図表2（次ページ）の通り、年に1、2校程度見受けられる。私立大学は2校減の590校。旭川大学が設置者変更された他、天理医療大学が天理大学に統合された。なお、2024年度は恵泉学園大学と神戸海星女子学院大学が募集を停止することが判明している。少子化のなか、学生確保の困難さが感じられる。

[図表1] 2023年度 日本の大学数の内訳



【図表2】 私立から公立化された大学

年度	大学名	年度	大学名
2009年度	高知工科大学	2016年度	山陽小野田市立山口東京理科大学
2010年度	静岡文化芸術大学	2017年度	長野大学
2010年度	名桜大学	2018年度	公立諏訪東京理科大学
2012年度	公立鳥取環境大学	2019年度	公立千歳科学技術大学
2014年度	長岡造形大学	2022年度	周南公立大学
2016年度	福知山公立大学	2023年度	旭川市立大学

【図表3】 私立専門職大学

開設年度	大学名
2019年度	国際ファッション専門職大学
2019年度	高知リハビリテーション専門職大学
2020年度	情報経営イノベーション専門職大学
2020年度	東京国際工科専門職大学
2020年度	東京保健医療専門職大学
2020年度	開志専門職大学
2020年度	びわこリハビリテーション専門職大学
2020年度	岡山医療専門職大学
2021年度	かなざわ食マネジメント専門職大学
2021年度	名古屋国際工科専門職大学
2021年度	大阪国際工科専門職大学
2021年度	和歌山リハビリテーション専門職大学
2022年度	アール医療専門職大学
2023年度	電動モビリティシステム専門職大学
2023年度	東京情報デザイン専門職大学
2023年度	グローバルBiz専門職大学
2023年度	ビューティ&ウェルネス専門職大学

図表3のように、私立専門職大学は4校増加した。これまでの大学・短大が学問的色彩の強い教育を重視するのに対し、専門職大学は産業界と連携した、より実践的な職業教育に重点が置かれている。特定の職業のプロフェッショナルになるために必要な知識・理論、そして実践的なスキルの両方を身に付けることを目的としている。2019年度に最初の専門職大学が開校して以来、増加している。

学部数は、図表4のようになった。大学数と同じように、私立が多くを占める結果となった。国立大学は総合大学が多く、1校に多くの学部があることが多い。公立大学は医療・看護など単科大学が多く、1大学あたりの学部・学科は少ない。

【図表4】 2023年度 学部数・学科数の設置者別の内訳

	学部数	占有率	学科数	占有率
国立大学	393	15.3%	903	17.2%
公立大学	211	8.2%	449	8.5%
私立大学	1,936	75.6%	3,869	73.5%
公立専門職大学	2	0.1%	2	0.0%
私立専門職大学	19	0.7%	29	0.6%
文科省所管外の大学校	1	0.0%	11	0.2%
合計	2,562	—	5,263	—

※「学部組織なし」「学科組織なし」は集計から除外。

※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

■学べる分野は数学・情報科学が増加！

最も多い学科は経営学・経営情報学・商学・会計学。理系の学科と異なり、設備投資があまり必要ない。次に多いのは社会学・観光学・メディア学だった。

ここ3年間で学部・学科がどのように変化したかを3年前の2020年度と比較した(図表6)。最も増えた学科は数学・情報科学で、次に経営学・経営情報学・商学・会計学、社会学・観光学・メディア学だった。数学・情報科学や情報工学が増えた背景には、データサイエンスに取り組む大学の増加がある。2023年度に新設された情報系・データサイエンス系の学部の例を一覧にした(次ページ図表7)。

データサイエンスは、学部・学科に関わらず、全学生を対象とした講座を設ける大学も見られるようになった。データサイエンスが盛んになってきた背景として挙げられるのは、データの処理が以前と比較して容易になってきたことと、課題解決の方法として有力であるとわかってきたことなどである。データサイエンス教育の高まりについて、当センターで記事を2022年4月に掲載したので、[そちら](#)もあわせて参照してほしい。

[図表5] 2023年度 学問分野別 学べる学科数[全大学集計]

学問分野		学科数	学問分野		学科数	学問分野		学科数
1	経営学・経営情報学・商学・会計学	509	25	史学・地理学	141	49	美術	54
2	社会学・観光学・メディア学	368	26	生物学・生命科学	139	50	光工学分野／その他	53
3	医療・保健学	356	27	政治学・政策学	136	51	家政・生活科学	52
4	語学	340	28	応用化学	133		応用物理学	45
5	国際関係学・国際文化学	338	29	特別支援教育課程	128	52	航空・宇宙工学	45
6	情報工学	313	30	薬学	112		畜産学・動物学	45
7	看護学	301	31	環境科学分野／その他	107	55	地学	44
8	経済学	281	32	食物学	106	56	農業経済学	43
9	小学校・幼稚園課程	276	33	土木工学	105	57	被服学	41
10	心理学	265	34	人間科学分野／人文系その他	100	58	水産学	40
11	文学	252	35	哲学	98	59	工学	35
12	文化学	236		物理学	88		教養学	34
13	機械工学	211	36	農学	88	60	経営工学・管理工学	34
14	数学・情報科学	203	38	教育学	84		農業工学	34
15	電気・電子工学	202	39	生物工学	83	63	森林科学	33
16	社会福祉学	193	40	医学	82	64	養護教諭課程	30
17	体育・健康科学	184	41	医用・生体工学	81	65	歯学	29
18	児童学・子ども学	180	42	化学	80	66	獣医学	17
19	法学	169	43	農芸化学	79	67	資源工学	15
20	芸術系その他(CG等含む)	168	44	生物生産・生物資源学	68	68	船舶・海洋工学・商船学	13
21	建築学	167	45	総合科学	65	69	原子力工学	9
22	中等教育課程	147	46	材料工学	61	70	高等学校教員養成課程	1
	栄養学	147	47	住居学	56			
24	デザイン	146	48	音楽	55			

※学問分野は『螢雪時代』(旺文社)の分類による。
 ※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。
 ※学科組織がない場合は、学部をカウント。
 ※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

[図表6] 2020年度と比較して、学べる学科数が増えた学問分野[上位10分野／2023年度 全大学集計]

学問分野	増えた学科数
数学・情報科学	36
経営学・経営情報学・商学・会計学	25
社会学・観光学・メディア学	25
医療・保健学	20
情報工学	18
経済学	15
国際関係学・国際文化学	15
心理学	13
教育学	12
栄養学	12

※学問分野は『螢雪時代』(旺文社)の分類による。
 ※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。
 ※学科組織がない場合は、学部をカウント。
 ※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

[図表7] 2023年度に新設された情報系・データサイエンス系の主な学部

設置者	大学	学部等
国立	一橋大学	ソーシャル・データサイエンス学部
国立	静岡大学	グローバル共創科学部
国立	和歌山大学	社会インフォマティクス学環
公立	名古屋市立大学	データサイエンス学部
私立	東北学院大学	情報学部
私立	順天堂大学	健康データサイエンス学部
私立	東京都市大学	デザイン・データ科学部
私立	明星大学	データサイエンス学環
私立	神奈川大学	情報学部
私立	北里大学	未来工学部
私立	湘南工科大学	情報学部
私立	福井工業大学	経営情報学部
私立	京都女子大学	データサイエンス学部
私立	大阪成蹊大学	データサイエンス学部
私立	大和大学	情報学部
私立	武庫川女子大学	社会情報学部

■ 国立は工学系、公立は看護、私立は経営系が多い

国公立大学別で学問分野を見ると（図表8）、国立大学は情報工学、数学・情報科学、機械工学など工学系の分野が上位に並んだ。10位の経済学、建築学まで、理系の分野が多く、その他、教育系が上位である。

公立大学は看護学が1位。社会福祉学も、国立・私立よりは上位。公立大学は、地域に対する貢献という背景がうかがえる。

私立大学は経営学・経営情報学・商学・会計学が最も多く、2位の社会学・観光学・メディア学を大きく上回っている。文系の学科が上位の多くを占める傾向が続いている。その他、児童学・子ども学や体育・健康科学、芸術系など、多様な学科が見られる。

[図表8] 2023年度 [国公立大学別] 学問分野別 学べる学科数[上位20分野]

国立大学			公立大学			私立大学		
学問分野	学科数		学問分野	学科数		学問分野	学科数	
1 情報工学	74	1	看護学	51	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	412	
2 数学・情報科学	71	2	経営学・経営情報学・商学・会計学	47	2	社会学・観光学・メディア学	301	
3 機械工学	69	3	情報工学	38	3	語学	294	
4 電気・電子工学	68	4	国際関係学・国際文化学	29	4	医療・保健学	286	
5 応用化学	60	5	経済学	28	5	国際関係学・国際文化学	278	
6 小学校・幼稚園課程	53	6	医療・保健学	28	6	小学校・幼稚園課程	219	
7 中等教育課程	51	7	社会学・観光学・メディア学	24	7	心理学	217	
土木工学	51	7	社会福祉学	24	7	文学	206	
9 生物学・生命科学	49	9	デザイン	23	8	経済学	206	
10 経済学	47	10	語学	22		看護学	206	
建築学	47	10	文化学	22	11	情報工学	191	
12 特別支援教育課程	46	12	数学・情報科学	21	12	文化学	177	
経営学・経営情報学・商学・会計学	45	13	栄養学	20	13	児童学・子ども学	170	
13 物理学	45	13	文学	18	14	体育・健康科学	168	
農学	45	14	電気・電子工学	18	15	社会福祉学	164	
社会学・観光学・メディア学	42	16	環境科学分野／その他	17	16	芸術系その他(CG等含む)	144	
16 医学	42	16	建築学	17	17	法学	126	
看護学	42	18	機械工学	16	18	機械工学	124	
19 生物生産・生物資源学	41	19	農学	13		栄養学	124	
心理学	39	19	生物生産・生物資源学	13	20	電気・電子工学	113	
20 法学	39	20	食物学	13				
化学	39							

※学問分野は『蜚雪時代』(旺文社)の分類による。※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。※学科組織がない場合は、学部をカウント。※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。

【図表9】2023年度【エリア別】学問分野別 学べる学科数[上位20分野/全大学集計]

北海道・東北			関東・甲信越			北陸・東海		
	学問分野	学科数		学問分野	学科数		学問分野	学科数
1	経営学・経営情報学・商学・会計学	43	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	231	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	71
2	看護学	33	2	社会学・観光学・メディア学	178	2	語学	56
3	医療・保健学	31	3	国際関係学・国際文化学	173	3	看護学	46
4	情報工学	30	4	語学	145	4	医療・保健学	46
5	社会福祉学	26	5	医療・保健学	140	5	小学校・幼稚園課程	42
	心理学	23	6	文学	128	6	国際関係学・国際文化学	42
6	小学校・幼稚園課程	23	7	情報工学	127	7	情報工学	42
	経済学	23	8	経済学	124	8	社会学・観光学・メディア学	39
9	農学	20	9	文化学	109	9	心理学	37
	文化学	19	10	心理学	108	10	文化学	34
10	社会学・観光学・メディア学	19	11	看護学	108	11	経済学	33
	機械工学	19	12	小学校・幼稚園課程	95	12	機械工学	32
	電気・電子工学	19	13	機械工学	94	13	電気・電子工学	28
14	国際関係学・国際文化学	18	14	数学・情報科学	92	14	体育・健康科学	27
15	法学	17	15	電気・電子工学	87	15	文学	26
	中等教育課程	16	16	法学	85	16	児童学・子ども学	26
	建築学	16	17	体育・健康科学	80	17	中等教育課程	25
16	農芸化学	16	18	芸術系その他(CG等含む)	76	18	社会福祉学	22
	児童学・子ども学	16	19	社会福祉学	74	19	数学・情報科学	22
	体育・健康科学	16	20	政治学・政策学	72	20	栄養学	20
	デザイン	16						

関西			中国・四国			九州		
	学問分野	学科数		学問分野	学科数		学問分野	学科数
1	社会学・観光学・メディア学	87	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	51	1	経営学・経営情報学・商学・会計学	48
2	経営学・経営情報学・商学・会計学	81	2	医療・保健学	37	2	語学	39
3	語学	73	3	小学校・幼稚園課程	35	3	医療・保健学	35
	医療・保健学	73	4	情報工学	32	4	看護学	34
5	国際関係学・国際文化学	63	5	看護学	32	5	情報工学	33
6	小学校・幼稚園課程	61	6	社会学・観光学・メディア学	27	6	経済学	31
7	心理学	56	7	経済学	25	7	国際関係学・国際文化学	29
8	情報工学	55	8	心理学	24	8	社会学・観光学・メディア学	26
9	看護学	53	9	児童学・子ども学	23	9	小学校・幼稚園課程	25
10	経済学	52	10	文学	22	10	社会福祉学	24
11	文学	51	11	語学	22	11	電気・電子工学	24
12	数学・情報科学	44	12	機械工学	21	12	心理学	22
	文化学	43	13	特別支援教育課程	19	13	建築学	22
13	芸術系その他(CG等含む)	43	14	社会福祉学	19	14	機械工学	21
15	史学・地理学	37	15	栄養学	19	15	文化学	20
16	児童学・子ども学	35	16	中等教育課程	18	16	法学	20
17	社会福祉学	33	17	国際関係学・国際文化学	18	17	文学	18
	建築学	33	18	数学・情報科学	18	18	特別支援教育課程	18
19	体育・健康科学	32	19	生物学・生命科学	18	19	児童学・子ども学	17
20	デザイン	31	20	電気・電子工学	18	20	数学・情報科学	16
				体育・健康科学	18		栄養学	16

※学問分野は『蜚雪時代』(旺文社)の分類による。 ※複数の学問分野を学べる学科は、該当各分野にそれぞれカウント。 ※学科組織がない場合は、学部をカウント。
 ※学部横断プログラムや特別履修課程など、学部相当・学科相当と判断したものは集計。
 ※学科の履修地が複数ある場合(選択制、コースによって変わる、学年で変わるなど)、それぞれのエリアにカウント。大学本部のみ判明の場合は本部所在地にカウント。

■学問分野、エリア別の特徴

図表9は履修地を基に集計したエリア別の設置状況だ。各エリアで設置されている大学数が異なるため、学科数などはエリアによって差がある。最も学科の数が多いのはやはり関東・甲信越で、他の地域を大きく引き離している。関東・甲信越の次に学科が多いのは関西で、北陸・東海、中国・四国、九州、北海道・東北の順に続く。

2022年度は6つすべてのエリアで経営学・経営情報学・商学・会計学が1位だった。2023年度も同様の地域が多いが、関西では社会学・観光学・メディア学が1位となった。

医療・保健学も地域関係なく上位である。このようにどのエリアでも学べる分野がある一方で、エリアによっては学べない学問分野もある。例えば原子力工学は中国・四国エリアにはない。

毎年のように、学部・学科の新設や統廃合、改称などが発生する。大学は研究機関として学問の真理を追究する一方で、社会情勢の変化や学生の志向に応える工夫を続けていく。理系人材、デジタル人材の育成が言われるなか、関連学部・学科の増加が見込まれる。今後の動きが注目される。

(2023.8 今村)